

編集方針

■対象範囲

- 本レポートは日本化薬グループの、CSRに対するマネジメント体制、社会活動、環境安全活動を中心にまとめています。経済活動については「アニュアルレポート2009」、当社ウェブサイトなどに詳細にまとめていますので、本レポートでは概略にとどめています。
- 掲載の環境パフォーマンスデータは、日本化薬(株)および製造部門を持つグループ会社9社を主な対象としています。また、事業内グループ会社として、製造部門を持つ4社を対象としています。
対象グループ会社9社：(株)ボラテクノ、化薬化工(無錫)有限公司、マイクロケムCORP.、無錫先進化薬化工有限公司、招遠先進化工有限公司、日本化薬フードテクノ(株)、インデットセイフティシステムズa.s.、ニッポンカヤクCZ, s.r.o.、ライフスパーク Inc.
対象事業場内グループ会社4社：(株)日本化薬福山、厚和産業(株)、(株)日本化薬東京、(株)トムス

■対象期間

- 原則として、2008年度(2008年6月～2009年5月)の活動を対象としています。
- 一部の活動は2009年6月以降のものを含みます。
- 環境パフォーマンスデータは2008年4月～2009年3月のものとなります(VOC排出量、大気汚染防止、水質汚濁防止、廃棄物発生量、地球温暖化防止など)。

■記載上の配慮事項

- 活動の具体例を可能な限り写真、図表を用いて説明し、結果は数値データを含め記載しました。
- 平易な表現を心がけ、難解な用語には注釈を入れました。
- 作成にあたっては、環境省の「環境報告ガイドライン2007年版」およびGRIのサステナビリティ・レポート・ガイドライン第3版」を参考にし、前号以前にいただいたアンケートのご意見、ご感想をもとに可能な限り改善を図りました。

■特記事項

- 本年度より、出来るだけ多くの従業員が参画し作り上げるCSRレポートを目指し、「Voice」の欄を設けました。
- 従来のサイト紹介のページを見直し、事業内容や地域とのかかわりを社会活動の報告として扱うことによりページ数を削減し、紙資源の有効活用に努力しました。

表紙写真について



撮影者：高崎工場
製造部
今井 盛陽



白馬八方池に登山中、偶然このシャッターチャンスに遭遇し、この構図になるまでじっと待ち続けて撮りました。



撮影者：医薬事業本部
ライセンス部
渋谷 京一



北アルプス黒部五郎岳から笠ヶ岳に至る稜線には、まだまだ雷鳥がたくさんいます。

日本化薬グループのCSRレポート2009

C O N T E N T S

目次

総説・経済

- 04 世界に広がる日本化薬グループ
- 06 企業ビジョンとCSR
- 08 世界的すま発想。で社会に貢献する日本化薬グループの事業
- 10 機能化学品事業
- 11 医薬事業
- 12 セーフティシステムズ事業
- 13 アグロ事業

マネジメント体制

- 14 コーポレート・ガバナンス／コンプライアンス
- 16 環境安全衛生品質マネジメントシステム

社会

- 18 お客様とのかかわり
- 20 社会とのかかわり
- 22 地域とのかかわり
- 24 従業員とのかかわり

環境安全

- 26 事業活動に伴う環境負荷低減の取り組み
 - ① 化学物質の環境排出量削減
 - ② 廃棄物の削減
 - ③ 地球温暖化防止
- 33 化学物質の管理
- 34 環境会計／社外表彰実績
- 36 事故防止・労働災害防止の取り組み

- 38 日本化薬株式会社 主要拠点連絡先／グループ会社連絡先
- 39 索引／編集後記

総説・経済

マネジメント体制

社会

環境安全